



臨床糖尿病支援ネットワーク

MANO a MANO



“mano a mano”とはスペイン語で“手から手へ”という意味です

[当法人理事]

武蔵村山病院

小柳 貴子 [看護師]

人生100年時代のダイアベティスケア

毎年7月に開催されます「西東京糖尿病療養指導プログラム」をご存じでしょうか。コロナ禍にオンライン開催となり、北海道から沖縄まで、まさに日本全国からの参加が可能となりました。企画側として、会場で参加者の皆さんの反応を拝見しながら運営していく楽しみを捨てきれないのですが、反面オンラインの良さも実感しています。2024年度は、記念すべき第20回目を迎えます。「人生100年時代のダイアベティスケア」を共通テーマに、それぞれの領域で興味深いプログラムを企画し、皆様のご参加をお待ちしています。

人生100年時代、長い人生の中でどのように療養指導士として活躍できるでしょうか。医療の進歩とともに、糖尿病とともに生きる人を支援する私たちの在り方、生き方が問われているように思います。

先日70歳で退職された先輩看護師から、今後は地域のボランティアとして活動していくというお話を伺いました。医療従事者としての充実した経験を社会の中で活かしていくことを見据え、1年前から社会奉仕活動に参加し、働き方や役割、糖尿病とともに生きる人との関わり方を変えて、自身が健やかに人生を送ることを考えておられることを知り、とても刺激をいただきました。

多くの医療機関で定年が延長され、長く働き続けられるようになってきています。療養指導士として医療機関だけでなく、地域や家庭の中、さまざまな機会を通じて活躍されている方がいらっしゃいます。多様な暮らしの中で、すでに家族や自身の体験として糖尿病とともに生きる人生であり、同時に支援する人生でいらっしゃる方もいます。療養指導士として学んだ知識や技術に加え、自らの人生によって培われた知恵や経験を活かしていくことで、さらに支援のあり方が広がるかもしれません。糖尿病とともに生きる人が自らの人生を健やかに自分らしく生きるために、私たちを通して医療の恩恵を十分に活用できるよう、今後も療養指導士としての学びの機会を大切にしていきたいと感じました。

これからの長い人生を自分らしく学び・楽しみ・どのように働いていくのかを考え、糖尿病とともに生きる人を支える私たちのこれからも健やかでありますようお願いばかりです。

当法人では「西東京糖尿病療養指導プログラム」研修以外にもたくさんの企画を準備しています。皆様に有意義な学びの機会として活用していただけるよう今後も尽力して参ります。皆様のますますのご活躍を祈念しております。

読んで
単位を
獲得しよう

西東京糖尿病療養指導士(LChttps://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q10259184885DE)は、更新のために5年間に於いて50単位を取得する必要があります。本法人会員は、会報「MANO a MANO」の本問題及び解答を読解された事を自己研修と見做し、**1年につき2単位**(5年間で10単位)を獲得できます。毎月、自分の知識を見直し、日々の療養指導にお役立てください。

問題 ● 次の文章を読んで以下の質問に答えてください。

59歳、男性。罹病歴20年の1型糖尿病。強化インスリン療法を実施中。数日前から食欲不振・倦怠感が出現し、スナック菓子やジュース類をときどき摂取するのみだった。食事が摂れないので、数日前からインスリンは使用していなかった。昨日から嘔吐を認め、意識がもうろうとしていたため、家族が救急要請。

身体所見：血圧 119/79mmHg、脈拍 110拍/分(整)、体温 36.8℃、クスマウル呼吸あり

検査所見：血糖値 803mg/dL、Na 133mEq/L(基準値:138~145)、K 6.3mEq/L(基準値:3.6~4.8)

pH 6.931、pCO₂ 22.6mmHg、HCO₃⁻ 4.7mmol/L、アニオンギャップ 30.8mmol/L(基準値:10~20)、乳酸 1.3mmol/L(基準値:0.2~1.6) 尿ケトン(3+)

この患者の病態について正しいのはどれか、1つ選べ。

1. 乳酸アシドーシス
2. 高浸透圧高血糖状態
3. 急性膵炎
4. 副腎不全
5. 糖尿病性ケトアシドーシス



報告

第37回多摩糖尿病チーム医療研究会

日時: 令和5年10月12日(木)
場所: 立川相互病院

〔当法人評議員〕 立川相互病院 宮城 調司〔医師〕

10月12日(木)立川相互病院講堂にて第37回多摩糖尿病チーム医療研究会が開催されました。今回は、立川相互病院におけるチーム医療とのことで各職種から発表を行いました。

当院はHPH(Health Promoting Hospital)に加盟しており、まず、外来看護師から『社会的問題へのアプローチで通院継続に繋がった1例』、当院での気になる患者家庭訪問や通院中断対策、通院継続をする上での社会環境的な問題をクリアする取り組みなどを紹介いたしました。外来MSWから『無料低額診療と社会的支援を要する糖尿病患者の1例』、無料低額診療の紹介など経済的な支援について話しました。退院支援看護師から「経済的な問題からサービスが増やせない患者の退院支援」、認知機能低下、キーパーソン不在、経済的問題など様々な問題を抱えている患者を実際に在宅療養に繋げる取り組みについてお話しいただきました。医師から「ゴミ屋敷に住む糖尿病合併高齢者夫婦への介入」、経年的に認知機能低下あり在宅療養が困難となる、周囲の福祉医療スタッフが環境調整に奔走するという事例でした。最後は、満期になった生命保険の存在で経済的問題が一気に解決するという内容でした。外来診療だけではなく訪問診療・ケアマネジャー・訪問看護・訪問介護・薬局など様々な職種が在籍する当院らしさが溢れる事例紹介だったと思います。

特別講演では、千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授 近藤 克則先生から「糖尿病への社会環境アプローチ」という題でお話しいただきました。『健康格差社会』など多くの本も執筆されている先生です。未病の段階からの環境調整、周囲との繋がりや疾病の関わりなど、様々なアプローチがあると気づかされました。日常診療で困っている患者への対応や、普段気づかない糖尿病への様々なアプローチなど、大変有意義な会になったと思います。



報告

西東京CSII普及啓発プロジェクト 第25回研修会

日時: 令和5年11月28日(火)
場所: 立川相互病院

〔当法人評議員〕 大和調剤センター 森 貴幸〔薬剤師〕

11月28日(火)に立川相互病院 講堂にて西東京CSII普及啓発プロジェクト第25回研修会を開催したので報告をいたします。新型コロナウイルス感染症が5類に変更になり、久しぶりの会場での参加者の方を集めての研修会でした。

メインテーマを「User-friendly な治療を目指して～ハンズオンセミナーでポンプの最先端を体験しよう!」として行いました。ハンズオンセミナーで日本メドトロニック クリニカルソリューションズ部の角山 信史先生にSAPについて説明していただき、Minimed770Gと12月4日に発売するMinimed780Gについてご講演いただきました。770Gのスマートガードでは低グルコースのみの対応になり、更に目標血糖値は120mg/dLのみでありました。780Gのスマートガードでは低グルコース値の是正と高グルコース値の補正も行ってくださることがありました。

次に「新テクノロジー普及啓発のためには何が求められているのか?」として医療従事者に対して行ったアンケートの結果を、八王子糖尿病内科クリニック看護師の小池 真由美先生にご講演いただきました。初心に戻って会の目的を再確認、「普及啓発」という方向性を確かめられました。今後のこの会の方向性が示唆される内容でした。①エキスパートの話 ②当事者体験 ③導入経験 ④reportの読み方・基本的技術などニーズの方向性も、メーカーの講演会との差別化という点では患者さんコラボなども、患者さんを集める参加企画などは別途企画するなどが解り今後の活動を考える糧になりました。

全体討論は少し時間をオーバーしてしまいましたが、CSII普及啓発プロジェクトの活動意義を改めて知ることができました。より多くの医療従事者に参加していただき、多くの患者さんに安心してCSII、SAP、CGMを利用してもらえる環境を作っていければと思います。



第61回日本糖尿病学会関東甲信越地方会

令和6年1月20日(土)

パシフィコ横浜

[当法人理事]

東京都立多摩総合医療センター

辻野 元祥 [医師]

第61回関東甲信越地方会は埼玉医科大学の島田 朗会長の下、1月20日、パシフィコ横浜で開催されました。学会のテーマは時代を反映し、「糖尿病の多様性にどう対処するか」が掲げられました。また、島田先生がライフワークとなってきた「1型糖尿病」も重要なテーマとなりました。

シンポジウム1は、「1型糖尿病の多様性～病態に着目して～」のタイトルで、今川 彰久先生から劇症1型糖尿病、及川 洋一先生からKetosis-prone type2 diabetes (KPD)、川崎 英二先生から緩徐進行1型糖尿病、菊池 透先生から小児・思春期1型糖尿病について、それぞれ講演がありました。KPDは発症時はケトosisを呈し、インスリン治療開始後、離脱となるものの、その後も度々ケトosisを繰り返す疾患概念です。アフリカ系人種に特有と考えられていましたが、わが国でもKPDの症例報告が散見され、一部の症例では、1型糖尿病と同様の免疫学的機序が関わっているそうです。緩徐進行1型糖尿病の診断基準は昨年、2023年に改訂され、インスリン依存状態に移行するものを(difinite)、インスリン非依存状態にとどまるものを、(probable)、とそれぞれ区分するようになりました。また、以前のGAD抗体RIA法陽性であった症例でも、現行のELISA法で陰性であれば、進行リスクは低いため、前者ではELISA法による再評価が推奨されます。

シンポジウム2では、「私たちのダイバーシティ」のタイトルで、1型糖尿病をもつ医療者の先生方からのご発表がありました。患者の立場として経験するスティグマは想定以上のものがあることをお示しになりました。糖尿病関連の医療従事者ではそのようなことはないと思いますが、糖尿病以外の医療従事者がスティグマの根源となりうることに對して、アドボカシー活動を怠ってはならないという思いを新たにしました。

シンポジウム4では、「今こそ考える、1型糖尿病における災害対策」のタイトルで、獨協医科大学の薄井 勲先生と辻野が座長を担当し、藤原 幾磨先生、宮川 高一先生、八幡 和明先生から、ご経験、あるいは直面されてきたこれまでの災害から、今後、考えていかなければならない1型糖尿病患者さんにおける災害対策についてご講演いただきました。3人の演者の先生が異口同音にお話しされたのは、普段から患者さんに災害対策を伝えるための手段について、また、実際に発災した時に、どのように必要な情報をリアルタイムに伝えるか、が重要という点です。そのためには、個人情報保護の上で、SNSをどのように活用していくかを議論する必要がある、とのご指摘をいただきました。医療機関ごと、地域ごと、あるいは学会レベルで整備していくのか、今後、検討すべき点と思われます。

読んで
単位を
獲得しよう

答え **5** 下記の解説をよく読みましょう。

(問題は1ページにあります。)

解説

糖尿病性ケトアシドーシスはインスリンの作用不足により糖利用の低下が起り、脂質分解亢進に起因したケトン体の産生と高血糖状態で、意識障害を起こす。検査結果からpH低値でアシデミア、 HCO_3^- 低値・アニオンギャップ高値から代謝性アシドーシスで、この際に起こる代償性のクスマウル呼吸もみられている。著明な高血糖、尿中ケトン体強陽性でケトアシドーシスと判断できる。乳酸アシドーシスは糖代謝に酸素需要が追いつかず、嫌気性解糖に伴い乳酸値が高くなった状態を示すが、乳酸は基準値内であり否定。高浸透圧高血糖では脱水を伴うことが多く血糖値は異常高値であることが多いが、高度のアシドーシスとなることは少ない。急性膵炎の診断は①急性腹痛発作②膵酵素(リパーゼやアミラーゼ)の上昇③超音波やCT、MRIなどでの異常所見の2項目以上が認められた場合。副腎不全では低血糖や低Na血症、高K血症、低コレステロール血症となることが多い。

研究会等のセミナー・イベント情報

 主催事業
 共催・後援事業
 その他

2024年度 西東京糖尿病療養指導プログラム(CDEJ1群) テーマ:人生100年時代のダイアベティスケア

◆ 第20回 西東京教育看護研修会

申込必要

テーマ:『人生100年時代のダイアベティスケア～高齢糖尿病看護update～』

開催日:2024年7月7日(日)9:25~16:30

会場:Zoomにて開催いたします

参加費:早割[申込開始~5/19]6,000円 / 通常[5/20~6/27]7,000円

申込:当法人ホームページの「重要なお知らせ」又は「新着情報」よりお申し込みください(6/27締切)

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位:10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群>:申請中

オンライン

◆ 第20回 西東京病態栄養研修会

申込必要

テーマ:『人生いろいろ 高齢者・急性期・周術期100年まとめて糖尿病をがつつり学ぼう』

開催日:2024年7月7日(日)9:25~16:30

会場:Zoomにて開催いたします

参加費:早割[申込開始~5/19]6,000円 / 通常[5/20~6/27]7,000円

申込:当法人ホームページの「重要なお知らせ」又は「新着情報」よりお申し込みください(6/27締切)

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位:10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群>:申請中

☆病態栄養専門管理栄養士認定更新のための研修単位:申請中

☆日本栄養士会生涯教育実務研修(臨床栄養分野):申請中

オンライン

◆ 第20回 西東京薬剤研修会

申込必要

テーマ:『安心して心豊かな生活を送れるための支援を目指して人生100年時代を一緒に考えてみませんか』

開催日:2024年7月7日(日)9:25~16:30

会場:Zoomにて開催いたします

参加費:早割[申込開始~5/19]6,000円 / 通常[5/20~6/27]7,000円

申込:当法人ホームページの「重要なお知らせ」又は「新着情報」よりお申し込みください(6/27締切)

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位:10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群>:申請中

☆日本くすりと糖尿病学会P認定:申請中

オンライン

◆ 第8回 西東京臨床検査研修会

申込必要

テーマ:『人生100年と言われる時代の医療』

開催日:2024年7月7日(日)9:25~16:30

会場:Zoomにて開催いたします

参加費:早割[申込開始~5/19]6,000円 / 通常[5/20~6/27]7,000円

申込:当法人ホームページの「重要なお知らせ」又は「新着情報」よりお申し込みください(6/27締切)

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位:10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群>:申請中

☆日臨技生涯教育点数(自己申告):申請中

オンライン

◆ 第8回 西東京運動療法研修会

申込必要

テーマ:『糖尿病患者の体幹機能 各世代におけるライフスタイルの見直しと実践』

開催日:2024年7月7日(日)9:25~16:35

会場:Zoom / 杏林大学 井の頭キャンパス(JR中央線「三鷹駅」よりバス他)

参加費:早割[申込開始~5/19]6,000円 / 通常[5/20~6/27]7,000円

申込:当法人ホームページの「重要なお知らせ」又は「新着情報」よりお申し込みください(6/27締切)

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位:10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群>:申請中

☆健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位:申請中 ※現地開催のみ

ハイブリッド

研究会等のセミナー・イベント情報

 主催事業
 共催・後援事業
 その他

 第9回糖尿病看護を語る会

 申込必要

テーマ：『糖尿病療養指導って、自分たちができることってなんだろう～モヤッとを吐き出そう～』
 開催日：2024年3月9日（土）14：50～18：15
 会場：オープンイノベーションフィールド多摩 国分寺館（JR中央線「国分寺駅」南口下車 徒歩5分）
 参加費：1,000円
 申込：QRコード及びセミナープログラムに掲載のメールアドレスにてお申し込みください（3/7締切）
 問合せ：ロシュDCジャパン(株)（担当：星野） TEL：070-4295-2611

- ☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：5単位
- ☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群看護>：2単位申請中

 糖尿病災害対策委員会 第11回医療者向けセミナー

 申込必要

テーマ：『被災場所によってどのような行動をとるべきか？』
 開催日：2024年3月11日（月）19：20～21：00
 会場：Zoomにて開催いたします
 申込：当法人ホームページの「セミナー・イベント情報」よりお申し込みください（3/11締切）
 ☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

 参加費
無料

 オン
ライン

 令和6年 DiaMond Seminar in 東京

 申込必要

開催日：2024年3月14日（木）19：10～20：50
 会場：Zoomにて開催いたします
 申込：セミナープログラムに掲載のURLよりお申し込みください（3/14締切）
 問合せ：住友ファーマ(株)（担当：伊藤） メール：issei.ito@sumitomo-pharma.co.jp
 ☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位
 ☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第1群>：0.5単位申請中 ※看護師・准看護師
 ☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中
 ☆日本医師会障害教育認定単位 12：地域医療 0.5単位 76：糖尿病 0.5単位

 参加費
無料

 オン
ライン

 第53回東糖協多摩ブロック糖尿病教室 第28回西東京糖尿病患者会連合特別講演会

 申込不要

テーマ：『糖尿病を勉強しませんか？～正しい知識があなたの未来を明るくする～』
 開催日：2024年3月23日（土）14：00～16：00
 会場：武蔵野公会堂 2階 第1・第2合同会議室（JR中央線「吉祥寺駅」南口下車 徒歩2分）
 問合せ：(株)三和化学研究所（担当：折小野） TEL：090-1565-6831
 ☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位
 ☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<第2群>：0.5単位申請中

 参加費
無料

 一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク 第76回例会

 申込必要

テーマ：『糖尿病と骨～人生百年時代をみすえて丈夫な骨を維持するために～』
 開催日：2024年3月27日（水）19：20～21：00
 会場：Zoomにて開催いたします
 参加費：当法人会員 無料 / 一般 2,000円
 申込：当法人ホームページの「セミナー・イベント情報」よりお申し込みください（3/27締切）
 ☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：4単位

 参加費
無料

 オン
ライン

発行元

一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク事務局
 〒185-0012
 国分寺市本町2-23-5 ラフィネ込山No.3-802
 TEL:042(322)7468 FAX:042(322)7478
<https://www.cad-net.jp/> Email:info@cad-net.jp

編集後記



インフルエンザは冬！と決まっていたかのような時代が懐かしい今日この頃。夏からインフルエンザ感染が見受けられ、冬の病気ではなくなってしまったかのようだ。最近ではインフルエンザA、Bはもとより、新型コロナウイルス感染症、溶連菌感染、感冒、急性胃腸炎等々感染症なら何でもあり！？のカオス状態が続いている。すっかりウィルスの縄張りも変化してしまったかのようだ。（広報委員 川越 宜明）



一般社団法人

臨床糖尿病支援ネットワーク

Clinical Assistance of Diabetes Network